

東北大学金属材料研究所

国際共同研究センター共同研究募集要項

1. 目的

本所は、材料科学の世界的 COE として、国内外の研究者に開かれた運営に努めてきました。国内においては、全国共同利用研究所として、大型設備を含めた最先端の独創的な研究資源を大学・研究機関の研究者に開放し、わが国の材料科学研究の推進と関連する研究者コミュニティの発展に貢献しています。同時に、共同研究の成果を広く発信・公開することにより、材料科学の COE としての社会的使命を果たしています。さらに、本所は国際的な共同研究も積極的に行ってききましたが、近年の研究のグローバル化に伴い、このような活動を一層発展させ、材料科学の世界的 COE としての機能を強化するために、この度、以下の要項により、国際共同研究制度を行っています。

2. 研究組織の構成

申請組織は、所内の教員と諸外国における教育研究機関（企業等営利団体は除く。）の研究者の双方から構成される必要があります。研究組織の分担者として、技術一般職員及び大学院生等を含むことが出来ます。国内の分担者の取り扱いは研究部共同利用に準じます。

3. 申請課題の分類

申請課題は以下の 5 つに分類されます。

(1) プロジェクト研究 (Form1 and Form3)

本所を拠点とした、国内外の研究者と本所の受入教官を含む研究チームによる共同研究であり、材料科学の発展に資するもの。申請代表者は国外の研究者とします。2 年まで自動的に継続可能。研究経費は、1 件総額 300~1000 万円程度とし、共同研究のための外国人研究者の招聘、研究のための消耗品・設備購入ならびに、本所の分担者の共同研究実施のための渡航費に用いる。ただし、国際共同研究で有ることに鑑み、専ら消耗品・設備購入や本所の分担者の渡航を目的とする研究は認められません。年 1 - 2 件程度採択。

(2) 一般研究 (Form1 and Form3)

国外の研究者が、本所に1～2週間程度の期間滞在し共同研究を行うもの。申請代表者は国外の研究者とします。申請にあたり本所の受け入れ教員の事前の合意が必要です。経費の使途は、原則、招聘旅費とし、1件50万円を上限とします。1回の訪問毎に申請が必要です。なお、上記の経費の範囲内であれば、1つの申請で複数の研究者の招聘が可能です。

(3) ワークショップ

＜国際会議における共催、後援の申請＞(Form2A)

金属材料研究所教員が組織委員として、企画運営する国際会議に対して東北大学金属材料研究所からの共催、後援が必要な場合は、国際共同研究センターまで申し込んで下さい。審議の上、可否を決定します。共催に関しては、教授会報告、承認事項となりますので、月初めに申し込んだ場合、2ヶ月を要します。

*金研からの財政援助を申請する場合は(Form2B)も合わせて提出。但し、仙台を拠点とする国際会議であること。(金研もしくは近郊での開催に限る)

＜国際会議における財政援助の申請＞(Form2B)

本所を拠点とした材料科学の国際的研究の展開を目的とした国際ワークショップの開催。申請代表者は本所の教員とし、組織委員に国外の研究者を含むものとします。経費の使途は国外の参加者の招聘旅費とし、1件150万円程度とします。他の資金と合同開催が可能です。

(4)客員教授 (Full CV and Form8)

1ヶ月から最大3ヶ月までの期間、本所に滞在して研究を行います。招聘旅費と正規の教授又は准教授としての給与が支給されます。

(5) 若手フェローシップ (Form3 and Form9)

海外の若手(大学院後期課程を含む)が、受け入れ教員の元で共同研究を行うことを支援します。支援額は1月15万円で2ヶ月まで、滞在費または旅費とします。

4. 申請方法

(1) 申請書等の各様式は、本研究所のホームページからダウンロードしてご使用下さい。URL: <http://www.icc-imr.imr.tohoku.ac.jp/>

*申請書は英文で作成下さい。

(2) 所内の研究者の場合は直接提出、所外の研究者の場合は受け入れ教員の下承を確認するために、所内の受け入れ教員を通して提出して下さい。

(3) 申請の提出はICC-IMR applicationとタイトルに記入し、電子メールにてPDF

もしくは Word ファイルで提出。送付先 icc-imr@imr.tohoku.ac.jp

(4) 本研究所の各研究部門名・所属教員名・研究の概要等は本研究所ホームページで公開されています。

(5) プロジェクト研究、ワークショップは年 2 回程度。一般研究は随時受け入れます。締め切りは上記ホームページを参照下さい。

(6) プロジェクト研究は海外の研究者にレフェリーをお願いします。

5. 審査方法

(1) 一般研究とワークショップは国際共同研究センター運営委員会で、(a)学術的価値と材料科学への貢献、(b)国際的な共同研究の重要性、(c)経費の必要性と妥当性の 3 つの視点から厳正に審査され、採否の決定と経費の査定が行われます。

(2) プロジェクト研究に関しては、上記と同じ観点から国外の研究者による書面審査結果を踏まえて、国際共同研究センター運営委員会における合議審査で決定されます。ただし、2 年目以降の経費に関してはセンターの予算状況、申請課題の執行状況と研究経過を踏まえて調整されることがあります。

(3) 客員教授は、履歴と研究計画をもとに国際共同研究センター運営委員会における合議審査で決定され、教授もしくは准教授として採用されます。

6. 成果の報告

共同研究の成果は、各課題毎に、別途定める書式により報告を行う必要があります。また、論文としての成果の公開が求められます。その際、“謝辞”として「東北大学金属材料研究所における国際共同研究による」旨の文章を入れてください。また、発表した論文は、別刷 1 部を電子ファイルにて、以下まで送付下さい。送付先 icc-imr@imr.tohoku.ac.jp

英文の場合の参考として、次のような文例をあげておきます。

This work was supported by ICC-IMR of Tohoku University.

7. その他

(1) 問い合わせは、国際共同研究センターまで電子メールにてお願いします。icc-imr@imr.tohoku.ac.jp

(2) 招聘等における旅費支払いの基準や手続きは当研究所の規定等に抛ります。

- (3) 共同研究における消耗品・設備の購入や管理は、当研究所の規定等に抛ります。
- (4) 採択された場合、国内の分担者に関しては、研究部共同利用に準じて共同研究承諾書を提出下さい。
- (5) 国外の申請者・分担者においては、共同研究の遂行に伴って起こる事故等に備えて、各自の責任において傷害保険加入等の適切な措置を講じるものとします。
- (6) その他、共同研究にあたり承諾していただくべき事柄等に関しては、採択通知にて案内し、申請者代表者が、分担者を含めた全員の同意を取り付けるものとします。